

新入社員研修

# 社会人としての マインドセット転換

—— 指導用マニュアル

REFERENCE

S26\_02



INSTRUCTOR GUIDE SERIES

## | このマニュアルについて

このマニュアルは研修の講師・インストラクターが、研修を実施する際の活用、また独自のプログラムづくりの参考のために作られたものです。以下の内容で構成されています。

- ・●●.pptx：研修用のスライドです。「ノート」に講師の話す内容が記載されています。
- ・●●.docx：研修の配布資料です。受講者用に印刷し配布してください。
- ・●●.pdf：スライドと配布資料をまとめた PDF ファイルです。

## | 活用方法

マニュアルやシート、ワークシートは、購入いただいた方々が、研修ニーズや状況に合わせて、手順や内容を加筆、修正して活用していただいて構いません。研修効果を上げるためには内容を受講生やニーズに合わせてカスタマイズしていただいた方が望ましいかもしれません。またインストラクターによっては、研修を展開するパターンが異なりますので、自己のパターンにあわせ大幅に修正し、活用することも必要になると思います。このマニュアルとシートを参考に、新しいレッスンプランを作成して、効果的な研修の実施にお役立ください。

## | 使用上の注意点

マネジメントアドバイスセンターが販売する研修用マニュアル、ゲームマニュアル等の著作権は当社が所有いたします。したがって購入者の皆さんには、利用権の譲渡になります。社内研修を行う上での利用料などは一切発生いたしません。

購入者は教材を社内研修などで、自由にコピーなどして利用できます。また活用しやすいように、編集、アレンジ、修正して使うこともできます。ただしマニュアル、シート、ワークシート等を第三者に譲渡、インターネット上などでの配布、生成 AI サービスへアップロードすること、レンタル、販売および著作物の制作に使用すること、無断で転用することは禁止致します。

また、研修の実施やマニュアルの内容についてのサポートは行なっておりません。

## | お問い合わせ

ご不明な点、利用上で気になる点などございましたら、下記のメールアドレスにお問い合わせください。

[shop@m-advice.co.jp](mailto:shop@m-advice.co.jp)

# 社会人としてのマインドセット転換

～「消費する側」から「価値を届ける側」へ～

## 本日の目標

この研修を通じて、以下のことができるようになります

1. 学生と社会人のマインドセットの違いを構造的に説明できる
2. 「消費者」から「価値提供者」への視点転換を自分の言葉で語れる
3. 成長マインドセットを日々の業務に適用する方法を実践できる
4. VUCA時代に求められる適応力と当事者意識を、具体的な行動計画に落とし込める

# アジェンダ

1. 学生マインドと社会人マインドの違い (25分)
2. 「消費者」から「価値提供者」への転換 (25分)
3. 成長マインドセット — 伸びる人の考え方 (30分)
4. VUCA時代の当事者意識と適応力 (30分)
5. まとめと振り返り (15分)

# アイスブレイク「入社して驚いたこと」

【グループワーク】（所要時間: 5分 / 4～5名1組）

テーマ：「入社してから"学生るときとは違うな"と感じた瞬間」

- 仕事の進め方、人間関係、時間の使い方、求められるもの…何でもOKです
- 付箋1枚に1つずつ書き出し、グループ内で共有してください
- 似たものはグルーピングしてみましょう

## セクション1 — 学生マインドと社会人マインドの違い

学生と社会人では、求められる「考え方の土台」が異なります。

観点	学生マインド	社会人マインド
立場	サービスを受ける側	サービスを届ける側
評価基準	テストの点数（個人の成果）	チームへの貢献・成果
時間の使い方	自分のペースで管理	締切と他者のスケジュールを意識
失敗への対応	やり直しが利く	原因を分析し、再発を防ぐ
学びの姿勢	教わるのを待つ	自ら学びに行く

# マインドセットとは何か

マインドセットとは、物事の捉え方や判断の土台となる「思考の枠組み」のことです

同じ出来事でも、マインドセットが違えば反応が変わります

**場面：上司から「この資料、やり直して」と言われた**

- マインドA：「否定された…。自分はダメだ」（自己評価に直結）
- マインドB：「改善点があるんだな。具体的に何を直せばいいか聞こう」  
（成長の機会と捉える）

→ マインドセットは「能力」ではなく「姿勢」の問題です

→ 姿勢は意識すれば変えられます

# 社会人としてのマインドセット転換

～「消費する側」から「価値を届ける側」へ～

1 / 31

## 【開始前の準備 / 所要5分】

- 受講者を4～5名のグループに分けておく
- A4用紙とペンを各テーブルに配布
- ワークシート（4種類）を人数分印刷しておく
- 付箋（1人5枚程度）を各テーブルに用意
- 「今日は"社会人としての考え方"について一緒に考えていきます。正解・不正解はありません。率直に自分の思いを話してください」と声かけ

## 本日の目標

この研修を通じて、以下のことができるようになります

1. 学生と社会人のマインドセットの違いを構造的に説明できる
2. 「消費者」から「価値提供者」への視点転換を自分の言葉で語れる
3. 成長マインドセットを日々の業務に適用する方法を実践できる
4. VUCA時代に求められる適応力と当事者意識を、具体的な行動計画に落とし込める

2 / 31

### 【時間: 3分】

- 「皆さんは"学生のとくと社会人では何が違う?"と聞かれたら、何と答えますか？」と問いかける
- 2~3名に軽く聞いてみる（「お金をもらう側になった」「責任が重い」など、答えやすい内容を引き出す）
- 「今日の研修が終わる頃には、その違いをもっと深く、自分自身の行動レベルで理解できているはずです」

## アジェンダ

1. 学生マインドと社会人マインドの違い (25分)
2. 「消費者」から「価値提供者」への転換 (25分)
3. 成長マインドセット — 伸びる人の考え方 (30分)
4. VUCA時代の当事者意識と適応力 (30分)
5. まとめと振り返り (15分)

3 / 31

### 【時間: 2分】

- 全体の流れを簡潔に説明
- 「座学だけでなく、個人ワークやグループディスカッションも多く取り入れています。気づきをどんどん言葉にしてください」と伝える
- リモート参加者がいる場合は、チャット機能やブレイクアウトルームの使い方を案内

## アイスブレイク「入社して驚いたこと」

【グループワーク】（所要時間：5分 / 4～5名1組）

テーマ：「入社してから"学生のと看とは違うな"と感じた瞬間」

- 仕事の進め方、人間関係、時間の使い方、求められるもの…何でもOKです
- 付箋1枚に1つずつ書き出し、グループ内で共有してください
- 似たものはグルーピングしてみましょう

4 / 31

【時間: 8分（説明1分+ワーク5分+共有2分）】

- 「些細なことでOKです。"朝起きる時間が変わった"とか"昼休みが短い"とかでも大丈夫です」と例を出してハードルを下げる
- 2～3グループに代表的な付箋を発表してもらう
- 出た意見を「仕事の仕方」「人間関係」「評価・責任」などにカテゴリ分けし、「これらの違いの根底にあるのが"マインドセット"です」とセクション1への橋渡しをする

## セクション1 — 学生マインドと社会人マインドの違い

学生と社会人では、求められる「考え方の土台」が異なります。

観点	学生マインド	社会人マインド
立場	サービスを受ける側	サービスを届ける側
評価基準	テストの点数（個人の成果）	チームへの貢献・成果
時間の使い方	自分のペースで管理	締切と他者のスケジュールを意識
失敗への対応	やり直しが利く	原因を分析し、再発を防ぐ
学びの姿勢	教わるのを待つ	自ら学びに行く

5 / 31

### 【時間: 5分】

- 「学生マインドが悪い、社会人マインドが良い」という単純な話ではないことを最初に伝える
- 学生時代に培った力（探究心、柔軟性、デジタルスキルなど）は社会人でも大いに生きる
- ここでのポイントは「土台となる考え方をアップデートする」こと
- 「皆さんはまだ社会人になって間もないので、両方のマインドが混在しているのが自然です。今日はその"切り替えポイント"を意識していきましょう」

## マインドセットとは何か

マインドセットとは、物事の捉え方や判断の土台となる「思考の枠組み」のことです

同じ出来事でも、マインドセットが違えば反応が変わります

**場面：上司から「この資料、やり直して」と言われた**

- マインドA：「否定された…。自分はダメだ」（自己評価に直結）
- マインドB：「改善点があるんだな。具体的に何を直せばいいか聞こう」（成長の機会と捉える）

→ マインドセットは「能力」ではなく「姿勢」の問題です

→ 姿勢は意識すれば変えられます

6 / 31

【時間: 5分】

- 「マインドセット」という言葉はビジネス書でもよく見かけるが、ここでは「自分の行動を左右する思考の癖」と平易に説明
- 場面の例を読み上げた後、「皆さんはどちらに近いですか？」と問いかける
- マインドAが悪いわけではなく、「落ち込む感情は自然。大事なのは、その後マインドBの行動が取れるかどうか」と補足
- この後のセクションで「成長マインドセット」を詳しく扱うことを予告